

平成30年度 鞠智城跡「特別研究」採用者一覧

No.	名前	研究分野	所属	役職等	地域性	年齢	申請研究テーマ	申請研究概要
1	オオタカヒロカズ 大高広和	文献史学	福岡県世界遺産室	文化財 専門職	九州	35	古代の烽ネットワークと鞠智城	明治期の小字調査の結果を中心に「とび」地名の集成、立地等の分析を行い鞠智城を中心とする熊本県域の古代烽ネットワークの復元を目指す。そして、7世紀後半の鞠智城を中心とした肥後国における対外防衛、交通路のあり方を明らかにする。
2	サトダテシヨウダイ 里館翔大	文献史学	明治大学大学院 博士後期課程	大学院生	関東	27	「人的ネットワーク」からみた平安時代の鞠智城周辺の国内情勢	9～10世紀の公卿、西海道諸国の国司・郡司を氏姓面や人的関係から検討し、従来の対外的な要素のみならず、国内的な要素・視点から鞠智城とその周辺の情勢を明らかにする。
3	チカラ ヒデノリ 主税英徳	考古学	基山町教育委員会	文化財 専門職	九州	35	日韓古代山城の水門構造からみた鞠智城	日本と韓国の古代山城の水門の構造と貯水・排水といった機能の比較検討を行い、古代山城の系譜、鞠智城の特徴を明らかにする。
4	ハヤシ ナオコ 林奈緒子	文献史学	東京大学大学院 博士課程	大学院生	関東	27	日本古代の兵庫と鞠智城	法制史料、六国史、発掘調査成果を用いて、中央と地方、大宰府と管内諸国という視点から、古代における兵庫の制度・機能・実態・意義を検討し、それによって9世紀まで兵庫と共に存続した鞠智城が古代史において持つ意味を明らかにする。

※五十音順